日刊（除月曜）　昭和25年10月6日第三種郵便物認可　昭和26年7月13日運輸省特別扱承認684號

磐城日日

昭和28年（1953）1月6日（火曜日）　第723號

磐城日日

發行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町潜廻51
電話代表387番
振替仙台31,355番
編集兼發行人　長瀬芳郎

俄然動き出す社黨線
市長の椅子ねらう
志賀、立花、水野は亂戰

一路發展の途をゆく小名浜町が東北の京浜地區として商工面に大きい脚光を浴び、みなと小名浜市として、或いは隣接町村を合併した大磐城市として輝かしい将来の第一歩を踏み出すのは今年である、今年こそは膨張小名浜が市制施行に突入する世紀の年次、その初代市長こそは眞にわれ〱がわが市の運命を託するに足る人物であらねばなるまい

水野現町長、志賀要平氏立花秀吉氏との三名の出馬は決定的とみられているが、志賀氏と水野氏間には實際選擧の場合或る種の妥協策が講ぜられるのではないか、と見られている今日、さうした場合志賀氏の出馬が濃厚であらうと見られている、志賀氏と立花氏なら、正に互角の戰い、ところが保守陣營の共喰いに乘じて決定的な勝利を占めようとする社會黨系の動きは見逃せない、時代の勢いに帆を上げた第三勢力これは相当强いと見るべきだらう、またこのような民衆の眞の力が政治力に反映しない政治は大多数の町民は損あつて益なしとも云はれている、この線から必ず一人は出るものと見られているが、社會黨、社會民主クラブ社会民主青年同盟の線が支持する人物の動向は一擧に從來の保守政黨の線を覆すのではないかと異常な関心が注がれている

小名濱町の成人式
祝賀祭に「東は東」など

身体健やかに豊かな教養を身につけて成人し、よき公民として社会に門出する青年男女を祝福する成人の日は國家的祝日として新春十五日全國一齊に祝賀されるが小名浜町に於ても男二百二十八名女百九十六名の町内在住成人者を公民館に招いて成人式が行われることになつた

成人者は公民館より交付される身体檢査表を持参して最寄りの醫者の健康診斷を受けて十五日提出する

当日は午前十時より成人式を擧行して成人證書及び記念品が贈呈され、婦人会の心盡しの赤飯に晝食を祝い午後からは会場を第一小学校講堂に移して成人祝賀祭が行われる出演は小名濱演劇研究會の「東は東」婦人会、青少年団体の祝賀余興など盛澤山のプログラムが予定されている

月、水二回
平管内の停電

電産ストから渇水停電、お天氣が續きすぎて平地區管内は五日から週二回停電が当分續きます、月曜と水曜がその停電日になつております

天氣豫報　6

（本日）朝のうち北の風小雨または雪模様ですが午後から北西の風一時强よくなり晴れて来ましよう

（海上）季節風が强く風波がたちましよう

魚菜市況　5
（小名浜中央青果市場）

卵一一、八〜一一、九大根五〜一三千大根一五〜一三里いも五〇〜七二へらな五〜一五ねぎ三九〜五三大和いも一六〇〜一八〇牛蒡七五〜八〇ほうれん草一三〇〜一五〇白菜二〇〜三〇人蔘四〇〜六八玉菜五五〜六〇甘藷二〇〜三二丸大根一〇〜二七馬鈴薯四五〜五五切いも三、一五いもがら五〇〇〜五一〇

（魚市場）

えび七七〇〜一〇五〇いか九〇唐人三三たと一二五〜一三〇小たと七〇さめ七五はも二〇〇

海上保安部長
遠山武夫

一九五三年が海に明ける
海洋とともに
「うづら」とともに
わたしの生命がある
このいのちの息吹きこそ
は
わたしのものだ
さきもりは新しく
年頭に叫ぶ

巳年の新生　③
鳩の巣　如鳩

昔のきく歌にもある様に

おくやまの
みねの岩やの
しろとへび（巳
山に千年
海に千年
　松の木かげに
　また千年

そして大へび即ち「巳」になるのであるから、なかなか忍耐のいることである。

然し中の「忍」も身を以て描く時には、不思議にすらすらと行うことが出来る。

最初に私が「忍」の字を「巳」は身をもつて書き初むる、と云つたのもそこにあるのである。

昔の句に

我がものと
思えば輕ろし
傘の雪

とあるなどもそれである「忍」を我が國のことばに譯すれば「しのぶ」となり、またそれに漢字をあてると「信ぶ」ともなる。

忍を全ふする易業として信心のあることを忘れてはならない。

信よく山を移すと云うともそこにある。

信を持つた人たちが山に向つて大死一番すれば山が必ず移るであろう。

また今や世界第一の高峰を征服せんとしている登山隊もあるようだ。

忍を行う工夫として一つの目標に向うことが肝要である。

よく信徒が御開祖の苦難を「わがもの」として開祖を「しのび」思い慕いつつ如何なる苦難をも平然として乘り越えて行く雪なぞは、まさに忍びの術を心得たものと言うべきである。

最後に巳に關する歌をもう一つ記して置くことにする。

巳は上に已に中ばに
　とどくとも
己は下と思え世の人

これに巳の字と已の字と己の三字が間違い易いのでそれを注意したのだと云つてしまえばそれまでだが　實は

巳在上位　已雖達中
常思自己　可思在下

と云うことで、身は位人身を極め修学已に中道に達したとても、常に衆人の下位にあると思い、以て世に所すべきことを教たものである。

要は本年巳の年、其の吉祥、瑞兆、感謝の爲め、本年の守本尊は普賢菩薩であるから、其の御加護を祈願すべきである。

……（巳入歌）……

みのまもり
かみにたのみて
みたみわれ
きみのみまえに
つみきよめみむ

★

★

謹賀新年

参議院議員
木村守江

縣会議員
植田万次郎

夏井村役場
村長　青木半次郎
助役　大和田喜宗
收入役　大和田正一

夏井村議会
議長　矢吹盛保
副議長　渡辺秀保
渡邊末廉
稻葉要
箱崎清
根本英憲
菅波義光
坂本豊司
青木徳寧
船尾作右衛門
志賀長重
矢吹稔
渡邊菅男
坂本茂長
小林治右衛門
鵜沼彦肝

福島縣漁業協同組合連合會
會長　鈴木常松

四倉機船底曳網秋刀魚棒受網漁業協同組合
組合長　鈴木常松

豊間農業協同組合
組合長　永山宗七

磐城セメント株式會社
四倉工場

夏井村消防團
團長　大和田喜宗

國立療養所
翠ケ丘病院
院長　大久保留吉
醫務課長　鈴木又兵衛
庶務課長　小林重孝
呼吸器科　内科
外科　X線科

東北地方療養所
望洋莊
所長　前田千秋
事務長　和田飛古市

有限会社江名造船所
社長　坂本菊治

さかえや本店
岡崎榮藏
平市六丁目
電四八五番

理容と美容
器具と材料
直龍軒
平市南町
電二三八〇番

三和衣料株式会社
社長　小野榮一
平市南町三五

株式會社　小野栄呉服店
取締役社長　小野榮一
平市四丁目三九

株式会社作田木工所
平市正月町一九
電話一一一五番

マルニンベン
常磐水産株式会社
平市大工町二二
電代表四〇七番

牛乳湯温泉!!
一日中休ナシ
皆様をお待ち申して居ります

割烹旅館　澁川
植田町　電話一一九番

平市三丁目
横山萬藏商店
電話代表九四番
倉庫用六番

丸茂土建工業所
鹽谷茂雄
平市十五丁目
電話一〇六一番
四八〇番

株式會社　百澤商店
平市四丁目
電話一二番
一一五四番

賀祖國獨立第一新春
本年も相變らず御引立の程を御願申上げます
續チャンバー
專門店
作業服　団服　ミシン加工
平市大町三〇
マルニ服装店
坂本俊一
電話呼五三〇番

株式會社　関彰商店
泉支店
電話二二番

市廳舍の新築提唱

斯うすれば實現可能と信ず

岡小名川　松田生

幸い長期療養者が出なければ良くはあつても、種々論議の的である事も言ふ迄もない、住むに家なき人々のために、庶民住宅の一戸を先きにするとしても刻下の緊急問題であるに違いはないが、それはそれで進め、之と併行して廳舍新築の具体化を計るとは、町民一人一人の義務ではないであろうか、叉、私の知る範圍に於ても新築を望んでゐる様である、即ち輿論が其處迄來てをり、此の際何等かの計畫を樹てるとは、時の利を得たるものではなからうか、叉、吏員の自覺も誇りも、執務能率もそれにふさわしい廳舍から生れる場合が多いのではなからうか、汚れた板の間には平氣で泥靴で上る人も、立派なお座敷へは迚も下駄ばきの誇りを捨てて、眞に高い誇りと執務能率を求むる心からも私は廳舍の新築の具体化を早急に計り度いと念願してゐる

でも私には財力がない、貧しい一介のサラリーマンに過ぎない、けれ共貧者の一燈への熱意は持つてゐる、町民みんなが力を合わせるなら何とか纒まつた資金が産み出せよう、仮に一千万圓の資金が入るならば、半額の五百万円位を町民が寄附し殘額は起債等其の他の方法で、廳舍が立派に建つではないだらうか、私の貧しい提案を此處に掲げ度い

案

一、寄附金　一口百圓（毎月）

二、口数　二千口（最低見込）

三、期間　二ヶ年（二八・二九年）

四、寄附見込額

一ヶ月　二十万圓

一ヶ年　二百四十萬圓

二ヶ年　四百八十万圓（利子共五百萬圓）

△備考

①事務的處理をどうするか、今は考へていない

②寄附は强請ではない、飽く迄自覺の上に立つたものであり度い

③月百円だけ何とか産み出す方法はないだろうか

④数口又は十口以上出せる人も多いではないだらうか

⑤冠婚葬祭など費用を倹約して寄附する方法もあるようだ

⑥やる氣になれば何となく出來そうに思はれる

⑦昨年來考へてゐた案である、よりよい實行の出來る案の御發表を願つている

巡回労働學校

日本水素労組で

労働運動に對する建全なる育成が望まれているとき、合成化学労連では傘下各組合幹部及び組合員に對する労働運動の有り方についての巡回労仂学校をいよいよ來る九日より十三日までの五日間日本水素小名濱工場労働組合事務所に於いて開校毎日午後四時半より全七時半迄行う事になつている

▽九日＝組織論……太田薫氏（合成化学委員長、總評副議長）

▽十日＝労働運動史……岡十万男氏（労働經濟新聞編集長）

▽十一日＝労仂政策労仂法……藤田若男氏（東大教授）

▽十一日＝賃金論……高島喜久雄氏（合化調査部）

▽十三日＝經済一般……清水愼三氏（鐵鋼労連副委員長）

なお一般希望者も受講されるよう、受講料は無料

望遠レンズで覗く

浜通り百傑の素顔

＝磐城日 梅野生＝

誰がとび出しどのような素顔

であつてもレンズのせいです

新しい年の初めには、新しい年を迎えての希望が湧く、われ〱はその希望に向つて毎年同じような努力を續けているが、サイの河原の石積みに等しく年々歳々同じような事ばかり繰り返し一とうにラチがあかない、同じ事だからといつて一回半で止めたのは物語りにある辨慶位なもので、人間のいとなみは所詮人間の生き方を生きる以外に蛙の眞似や、カンガルーのまねをして生きてゆくわけにはいかない、夫は妻に妻は夫に同じ事を繰りかえし、政治家は政治家でくだらない行政習慣の中で右ョ左ペンしながら日和見主義を續けている、だからと言つて、明日も同じ一日でつまらないと人間が死んでしまはないところを見ると同じことの中からよりよい社会を生き方を築き上げていきたいという「ねがい」は人間共通のものらしい、その意味において新春に思う各人の希望は大事に育て上げ、年の始の感覺の中で一生を貫く事が望ましい、別項年頭の言葉の中で新任芳月地方事務所長は常磐地区は小名浜港を中心に東北における京濱地區たる諸種の條件を完全に備え今年こそその開發躍進えの第一歩を踏み出す年であると明るい内容を示している、そこで本社はこの日本的産業開發の弗箱地帯常磐地區に生活する人々の中から過去において、或いは現在において印しつゝある、また將來殘すであらう人々に望遠レンズをあて、お化粧しない羽織袴をつけないそうした人間のあるがまゝの素顔をソッと拜見する、政治家も實業家も教育者も農民も職人も、各界分野の中でおの〱地方発展のために役立つ人として登場する町村も職業もバラ〱にのぞかれた順位に次の紙面から勝手氣儘な演出、題して「望遠レンズで覗く浜通り百傑の素顔」イカガナリマショウカ新春紙上親愛なる讀者各位に連載の挨拶を申上げます

謹賀新年

和洋酒　食料品　雜貨
加藤屋商店
小名浜町本町銀座
電話二二〇番

和洋酒　食料品
川田屋
小名浜町鹿島町
電話三四五番

喫茶　酒場　カフェー
三陽
小名浜町中坪

小名浜遊技場組合
百万弗
光陽
万ホール
光
ホームラン
千代屋
ひばり
共樂
ラッキー
キング

小名濱觀光協會

常磐水産　みりん干
加工業協同組合
組合長　安川市郎
副組合長　小野利一

小名浜専門店會
理事長　齊藤晃

打綿　座ふとん
阿部製綿店
小名浜劇場通り
出店　商工會隣り

ゴム靴とタイヤー　修理専門
新田ゴム更生所
小名浜町渚一
出張所　小名浜町榮町　魚市場近く
完全無比を誇る新田の技術は今や小名浜漁業界になくてはならぬ存在になつて居ります

パーマと美顔は
本田美容室へ
小名浜町後宿（新米ウラ）
電話（呼）一三〇番

平マーケット
小名浜町第二校前　電297

小名濱建設業協会
三崎組　太田武彦
常磐土建　草野道人
内田組　内田清吉
前澤組　前澤由五郎
小林建設　吉川久太郎
深山組　深山東八
作山組　作山安太郎
小原工務店　小原松之助
野口組　野口繁
柳内組　柳内庄八
松原組　松原英次郎
大友組　大友孝之進
鈴木組　鈴木一
大平工務店　大平貞
清水組　清水喜一
海老根工務店　海老根武松
吉川建設　吉川久太郎

湯本商工會
會長　吉田恭平

木材製材業
馬目武重
工場　湯本町上川　電56
自宅　内郷町　電59（呼）

湯本温泉土産菓子製造元
榮屋菓子店
武田榮藏
湯本町笠井　電二七六

食料雜貨商
三坂屋商店
湯本町三函二一六
電話一四七番

磐崎村岩ヶ岡
土田吉兵衛

うまい味噌醤油釀造元
木村進一
湯本町上町　電一一

映畫は……
湯本座
電話一〇三番

塗装一般
御代看板店
御代一
湯本町　電一七四

高級車なら…さくら日本號
熊田輪店
湯本町　電一四三

篠田齒科醫院
湯本町上町
電話三〇一番

服地と洋品
丸屋商店
電話七五番

洋品と化粧品　既制服　服地洋品
仙台屋洋品店
電話四四番

株式会社
つるや
湯本町三函　電三一四

鑛泉旅館
うばの湯
磐崎村上湯長谷
湯本局電三三〇
駅前案内所　電三六〇

白鳥温泉
春木屋
電話湯本一二四
駅前案内所　電二六四

白鳥元湯
喜樂屋
電話湯本二二七
駅前案内所　電三二七

宴会御商談に
岩惣旅館
湯本町吹谷
電話三三番

最新式パチンコ機械　ひばり号販賣並改善
石井薫司
營業所　湯本町三函　電湯本三七五
事務所　新津市善通二二　電話二九六番

諸機械並に農機具販賣
高松農機商会
湯本町関船
電話三八・二四九・三八

テント　袋物　ガバン専門の店
坂田テント店
湯本駅前　電三四五

小料理　なべ焼　中華そば
美津和
湯本町東町　電三四九

和洋家具　タンス　製造販賣
なかや家具店
湯本町天王崎
電話三七七番

萬金物　度量衡
株式会社　**鍋屋商店**
社長　吉田寅男
湯本町表町　電一六三

湯本温泉みやげ『さはとまんじゆう』
和洋菓子製造販賣
根本菓子店
電話湯本三七二

産婦人科　内科　小児科
叶多醫院
叶多信之
湯本町天王崎
電話四〇一番

建設大臣登録（イ）第九〇号
山形建設工業株式會社
勿来出張所
所長　山形
勿來町関田　電勿來一四〇
本社　東京都中央區銀座二ノ五

福島縣浜通
自家用自動車組合
植田支部
植田町本町　電三〇七

疊の御用命は植田第一の評ある!!
下山田疊店
下山田心平
植田町本町　電二三九

家畜の御相談は!!
根本家畜商
根本秀松
植田町本町　電二七六

石城郡連P副会長
菊多地区連P会長
錦小学校PTA會長
錦郵便局長
金成源右衛門
錦町江栗　電植田二四九

＝パンと洋菓子＝
錦製パン
錦町大倉　電植田二一六

＝二級建築士＝
＝土木・建築・請負＝
高橋組　**高橋民男**
事務所　錦町中田落合
自宅　〃　江栗

＝錦新聞販賣所＝
賀正
1953年
薄葉孝輝

＝田邊書店＝
田邊榮次
錦町中田　電植田二一五

今泉重右衛門
勿來町西殿八〇
電話一一六番

大田銃砲火薬店
勿来町通五六
關根忍
電話二九番

日本製氷株式会社
日本コルク工業株式会社
勿來工場
工場長　小澤榮太郎
勿來町関田　電一一八

福島縣錦町
星初太郎
電話植田二二〇番
一五六番